

2018年度第4回 鋼構造運営委員会 議事録

1. 日時 2019年3月28日(水) 13:30~17:00
2. 場所 建築会館会議室 202号
3. 出席者 井戸田秀樹, 五十嵐規矩夫(記録), 田中剛, 石田交広, 石原直, 一戸康生,
(敬称略) 宇佐美徹, 岡崎太一郎, 尾崎文宣, 越智健之, 金尾伊織(木村祥裕 代理),
向野聡彦, 下川弘海, 田川泰久, 竹内徹, 多田元英, 成原弘之, 西山功,
原田幸博, 見波進, 山田哲
欠席: 兼光知巳, 笠井和彦, 澤本佳和, 津田恵吾, 中込忠男
4. 資料(ストレージサーバ)
 - 04-01 議事予定(井戸田主査)
 - 04-02 2018年度第3回鋼構造運営委員会議事録案(兼光幹事)
 - 04-03-1 第3回構造本委員会資料(井戸田主査)
 - 04-03-2 第3回構造本委員会議事メモ(井戸田主査)
 - 04-03-3 小委員会予算配分額(井戸田主査)
 - 04-04 座屈小委員会報告(木村委員)
 - 04-05 鋼構造接合小委員会報告(山田委員)
 - 04-06 素材小委員会鋳鉄議事録案&活動報告(見波委員)
 - 04-07 各種合成構造改定小委員会議事録および活動報告(田川委員)
 - 04-08-a 環境小委員会報告(岡崎委員)
 - 04-08-b 環境小委員会_活動報告(岡崎委員)
 - 04-09 塑性設計小委員会議事録および活動報告(五十嵐幹事)
 - 04-10 耐火設計小委員会(尾崎委員)
 - 04-11-a 関連規準・指針の英文化小委員会報告(岡崎委員)
 - 04-11-b 関連規準・指針の英文化小委員会活動報告(岡崎委員)
 - 04-12 鋼構造設計規準改定小委員会活動報告(田川委員)
 - 04-13 (欠番)
 - 04-14 鋼管トラス構造(越智委員)
 - 04-15 (欠番)
 - 04-16-a PD会告案(岡崎委員)
 - 04-16-b 大会PD_英文化小委員会(岡崎委員)
 - 04-17 質疑回答(五十嵐幹事)
 - 04-18 重点審議(座屈小委員会)(木村委員)
 - 04-19 プロ編依頼者(井戸田主査)
 - 04-20 次回重点審議(井戸田主査)

5. 議事内容

(1) 前回議事録の確認等

- ・資料 04-02 に基づき、五十嵐より、前回議事録案の説明があり、承認された。
- ・石田交広委員より新任の挨拶があった。

(2) 構造本委員会の動きおよび予算

- ・資料 04-03-01～03 に基づき、井戸田主査から構造本委員会の報告があった。
- ・日本語書名『ガイドブック』の英語書名については、入門書的な場合『Primer』を使用し、事例集的な場合は『Guidebook』を使用することとなった。
- ・鋼構造設計規準改定小委員会のストレージは、1年間継続使用できることとなった。
- ・年度末において小委員会予算が不足する場合は、鋼構造運営委員会予算を振分ることができる可能性があるため早めに申し出ることとした。

(3) 小委員会・WG等の報告

- ・資料 04-04～04-14 に基づき、各小委員会・WG等の担当委員から報告（現在の活動と本年度の活動報告）があった。

座屈小委員会（資料 04-04 金尾先生（木村委員代理））

- ・鋼構造の座屈に関する諸問題」の刊行（2021年度予定）に向け、引き続き資料収集と研究内容を検討中である。
- ・詳細は、重点審議の中で報告する。

接合小委員会（資料 04-05 山田委員）

- ・鋼構造接合部設計指針の改定について検討している。2020年度に刊行予定である。
- ・座屈問題との整合、整理については行われている。
- ・『溶接接合設計施工ガイドブック』については、2022年度の刊行に向けて改定作業中である。

素材小委員会（資料 04-06 見波委員）

- ・金属材料関連技術資料の原稿のまとめ作業は、遅れがちであるが引続き行っている。
- 刊行予定の書名は、日本語書名は『ガイドライン』、英語書名は『Primer』を予定している。
- ・2019年度は、構造用鋼材の機械的性質・化学成分に関するデータベースを新規作成したいので、ミルシートの提供をお願いしたい。

各種合成構造設計指針改定小委員会（資料 04-7 田川委員）

- ・全体構成と各編の記述内容の見直しは、ほぼ終了した。
- ・第4編各種アンカーボルト設計指針の改定作業が多い。

環境小委員会（資料 04-08-a, b 岡崎委員）

- ・リユースを推進する対象として、「二次部材」、「回転貫入杭」、「弾性設計建築物」、「角形鋼管柱」の検討を始めた。
- ・「鋼構造環境配慮設計指針(案)-部材リユース-」の英文化を検討しており、米国論文への投稿を目指す。
- ・委員の交代について 解職：石原直委員、松元建三委員、井上茂樹委員
委嘱：岩田善裕(建築研究所)、田中照久(福岡大学)

塑性設計小委員会（資料 04-09 五十嵐幹事）

- ・「鋼構造塑性設計指針」の第4版改定の議論を引き続き行った。
- ・2019年度からの主査である聲高先生は、鋼構造運営委員会委員として次回から出席していただくこととした。

耐火設計小委員会（資料 04-10 尾崎委員）

- ・2019年度からの小委員会に向けて、委員の公募を行った。委員はこの公募2名を含めて15名の予定である。

鋼構造関連規準・指針の英文化小委員会（資料 04-11 岡崎委員）

- ・『鋼構造接合部設計指針』の英語版に関して外部者より意見をいただいた箇所の修正が完了したので、運営委員会で以前査読した2名の委員に再確認をお願いすることとした。
- ・本小委員会は、2019年度より2年間で設置申請しているが、1年のみの活動を予定している。
- ・2019年度PD内容について引続き検討しており、別資料にて報告する。

鋼構造設計規準改定小委員会（資料 04-12 田川委員）

- ・本小委員会は、3月末で終了する。本年秋に『鋼構造許容応力度設計規準』を刊行予定である。
- ・構造本委員会査読意見には回答済みであり、刊行承認を待っている状態である。また、ホームページで行った意見募集では、意見はなかった。
- ・4月末に脱稿予定である。

軽鋼構造設計施工指針・同解説改定小委員会（竹内委員）

- ・2019年度からの開催に向けて、日程調整を行う。

鋼管トラス構造設計施工指針・同解説改定関連（資料 04-14 越智委員）

- ・「分岐継手」、「管端ガセットプレート継手」、「鋼管材料と構造各部の設計」についての検討資料である。
- 海外（ヨーロッパ）の考え方を取り入れるかどうかは難しい面もあるが、引続き検討していく。
- なお、設計式をどのように扱うかは設計者による。
- ・今後は、「最近の鋼管材料」、「熱間圧延材」、「K継手」、「角形鋼管分岐継手」などについて検討していく。
- コラムメーカーなどからの材料に関する資料提供をお願いしたい。
- 鋼構造運営委員会の下に、新たな人材の育成を兼ねたWGを作るなど、議論を進める体制を整えることを検討する。

災害委員会（五十嵐幹事）

- ・特になし。

(5) 来年度（2019年度）大会PDについて

- ・資料 04-16a, bに基づき、岡崎委員より、2019年度大会PDの会告および主題解説要旨の説明があった。
- 主題解説に実務者が入っていないが、実務者からの意見はディスカッションの中で披露し、議論してもらうこととした。
- 規準・指針の相互関係については重要な内容なので、別の機会にゲストを呼んで勉強会を開くなど、引続き議論を進めていく必要がある。

(6) 学会図書の質疑回答の報告

- ・資料 04-17 に基づき、五十嵐幹事より、質疑回答の状況報告があった。
- ・懸案事項であった質問 16-1, 16-9 についても回答済みである。
- ・今後の回答にあたっては、関連する小委員会が存在する場合は、その小委員会で回答を確認した上で直接回答することとし、関連する小委員会が存在しない場合は、担当委員から運営委員会へ報告し、運営委員会で確認した上で回答することとした。

(7) 重点審議（座屈小委員会）について

- ・資料 04-18 に基づき、金尾先生（木村委員代理）から、『鋼構造の座屈に関する諸問題 2021』に向けたこれまでの取り組みについて説明があった。
- ・現在、地震外力を受ける骨組において、周辺部材の拘束効果および荷重条件を精緻に考慮した部材の座屈挙動に関する文献調査を行っており、来年度より研究内容の精査、まとめ作業に入る。
→実設計で問題となっている事案が抜けていないかどうかを確認する。
→弾性変形との関係で部材ランク等の見直しにつながるような検討も必要である。
→スラブ拘束梁の例のように各社個々の仕様規定ではなく、学会としての規定を設けていただきたいものは多々ある。
- ・座屈崩壊型鋼構造部材の性能評価 WG で検討してきた『鋼構造座屈設計指針』のスリム化案が五十嵐 WG 主査より説明された。本、WG は本年度で終了する。
→次回の『鋼構造座屈設計指針』改定時に、参考とするが、本文・解説をどのような形式とするかは小委員会の中で今後も議論を継続する。
→教科書的な記述は除き、他規準・指針では網羅しきれない技術資料的な内容を記載する。

(8) 大会プログラム編成会議出席者について

- ・資料 04-19 に基づき、井戸田主査より、4月19日開催の2019年度日本建築学会大会プログラム編成会議への出席予定者名簿が示された。

(9) 次回重点審議について

- ・次回重点審議は、大会 PD(英文化小委員会)と今後の鋼構造関連の規準・指針のあり方について検討することとした。

(10) 運営委員会委員の交代について

- ・一戸委員から窪田伸氏(日本製鉄)に交代することを運営委員会にて承認した。

6. その他

次回運営委員会 2019年6月3日(月) 13:30-17:00

重点審議 関連規準・指針の英文化小委員会

以上